

大事に使うエネルギー

家庭でできる お得な省エネ・節電

テレビやビデオ、冷蔵庫に電気ポットなど、私たちの便利で快適な生活は、さまざまな電気機器によって支えられています。そして、私たちが眠っている間にも、これらの機器は、貴重なエネルギー資源を消費し続けています。地球温暖化にもつながるムダなエネルギー消費を抑えるためには、毎日の生活の上でのちょっとした工夫が必要。さあ、今日からあなたも、簡単、お得な省エネ・節電ライフを始めてみませんか？

◆見ないときにはスイッチオフ

テレビやビデオなどの機器は、リモコン操作のための電源が入っていると、使っていないときでも、常に待機時消費電力を消費します。使わないときには主電源をオフに。また、旅行など、長期間にわたって出かけるときには、コンセントプラグを抜きましょう。

◆詰め込みすぎは厳禁

たくさんの物が詰まった冷蔵庫は、冷気の流れが悪くなり、物を冷やすまでに時間がかかります。レトルト食品や缶詰、乾物、常温で保存できる根菜類などは、冷蔵庫から出しましょう。整理した冷蔵庫の設定温度は「中」を目安に。

また、扉の開け放しは厳禁。気温18℃で10秒間扉を開けっ放しにすると、冷蔵庫内の温度が5℃上昇します。

◆省エネ・節電なら朝に再沸騰

電気ポットは、いつでも熱いお茶が飲める便利な機器。しかし、2.2リットルのマイコン型電気ポットは、年間電気消費量でみると、なんと400リットルの冷蔵庫とほぼ同じ。常に熱湯が必要でないなら、保温の温度は低めに設定しましょう。

また、寝ている間や長時間使わないときには、一度スイッチをオフにして、使うときに再沸騰させるほうが省エネ・節電になります。

◆ほかにもあります、かしこい省エネ・節電

エアコンは、ふだんの設定温度を見直して、暖房なら1℃下げる、冷房なら1℃上げることを心がけるようにしましょう。また、エアコンにも待機時電力消費があります。オフシーズンにはプラグを外しましょう。

このほかにも、人のいない部屋の室内灯は必ず切る、お風呂を沸かしたら冷める前にすぐに入るなど、ちょっとした気づかいで、ムダなエネルギー消費を抑えることができます。

■ビデオ非使用時にプラグを抜いていた場合



電気38.6kWhの省エネ・節電
電気代 約890円の節約（年間）

■冷蔵庫から不要な物を出して整理した場合



電気68.4kWhの省エネ・節電
電気代 約1,570円の節約（年間）

■2.2リットルの電気ポットを沸騰させ、1.2リットルを使用後、プラグを抜き、保温しないで再沸騰させて使用した場合



電気107.5kWhの省エネ・節電
電気代 約2,470円の節約（年間）

待機時消費電力とは

待機時消費電力とは、電気製品を使っていないときでも、通電しているだけで消費されている電力のこと。こうした電力消費は、家庭における年間平均消費電力のおよそ9.4%、電気料金にして9,800円にも上ります。

これらのエネルギー消費は、主電源を切ったり、プラグを抜いたりすることで、年間の待機時消費電力量のおよそ2~4割を抑えることができます。こうした電気の消費に目を向け、省エネ・節電を心がけたいものです。

家庭の待機時消費電力量
398KWh／年・世帯



待機時消費電力量の占める割合